

第4回学校運営協議会 記録

- 1 日 時 令和4年12月9日(金) 18:30~19:00
- 2 場 所 会議室
- 3 参加者 11名(欠席 吉岡、島瀬、長澤、宮久、増田)

4 次第

(1) 開会挨拶 (校長)

前回の学校運営協議会から3か月が経った。その間、学校では、参観日などの学校行事を無事終えることができた。中でも、3年ぶりに音楽会が行うことができ、とてもうれしく思っている。感染症対策のため3部完全入替制で行い、育成会の方々の協力も得ながら実施することができた。委員の皆様にもお越しいただき、大変有難かった。

(2) 協議

ア 12月以降の教育活動(学校行事等)について

- 主幹教諭から説明

イ 挨拶に関する取組状況報告(校長)

- 別添文書

ウ 見直そう、「見守りマップ」(熟議)

- 都合により中止

エ その他

- 新しい委員の紹介…主任児童委員任期終了に伴い、これまで務めていただいた百合田委員さんに代わり、橋本委員さんに学校運営協議会委員になっていただくこととなった。

(3) 講評 (教育推進員 西村久二夫 氏)

- これからの時代、今の常識では予測できないことが起こって来るであろう。子どもには自力解決できる力を付けていきたい。そして、大人も変わっていく必要がある。
- ずっと変わっていかないものもある。人とのつながりである。挨拶はすぐにできるようになるものではない。しかし、大人の思いは必ず伝わっていく。それを信じて関わっていくことが必要である。
- 西日本豪雨を体験して思うことは、何より命が大事ということである。ずっと子どもたちに伝えていかなければならない。そのために地域で見守っていくことが大切だ。
- コロナ拡大が止まらない今、何か学校に役立てることはないか考えていくことが学校運営協議会の役割である。学校に寄り添う思いをいただくことで、学校は勇気をもらって乗り越えられていく。是非協力をお願いしたい。

